

| 時  | 1/18 金   | 1/19 土  | 1/20 日   |
|----|--|---|--|
| 8  |  | 7:30 朝食   | 7:30 朝食  |
| 9  | 9:30 第一部受付   | 9:30 第二部受付  | 9:00 分科会-I                                       |
| 10 | <b>第一部 自然体験活動<br/>上級指導者研修</b><br>10:00<br>*主にCONEトレーナー、<br>NEAL主任講師を対象 | <b>第二部</b> 10:00 開会式  | 11:00 ⑤・⑥・⑦・⑧・⑨                                  |
| 11 | 12:00  | 10:20 <b>全体会①</b><br>12:30 「自然体験活動のソーシャルバリュー」                       | 11:00 <b>全体会③</b><br>12:00 「明日へとつなげるクロージングセッション」 |
| 12 | 12:00 昼食   | 12:30 昼食  | 12:00 まとめ・閉会式<br>12:30 解散                        |
| 13 | <b>安全管理者研修</b>   |   |  |
| 14 | 13:00 ・自然体験活動における安全管理-1<br>*主にNEALコーディネーターを対象                          | 13:30 <b>分科会-I</b>  |  |
| 15 | 16:00 ・自然体験活動における安全管理-2<br>*主にNEALインストラクターを対象                          | 15:30 ①・②・③・④   |  |
| 16 | 16:00 <b>保険と事故事例研究</b><br>17:30 *主にCONE包括保険加入者を対象                      | 15:30 休憩・チェックイン<br>16:00 <b>全体会②</b><br>17:30 「SDGsについてみんなで知ろう考えよう」 |  |
| 17 |  |   |  |
| 18 | 17:30 チェックイン・夕食・入浴   | 17:30 休憩・夕食・入浴  |  |
| 19 | 20:00  | 19:30 <b>情報交換会</b>  |  |
| 20 | 20:00 情報交換会 (任意)   |   |  |



平成30年度 子どもゆめ基金助成活動  
 全国自然体験活動指導者集会 **全国キャラバン**  
**自然体験活動フォーラム in 岩手**  
 自然体験活動は次世代へ

**自然体験活動の  
ソーシャルバリュー**

平成29年度に引き続き、全国の国立青少年教育施設を会場に自然体験活動指導者（NEAL）をはじめ、アウトドア大好き人間や教育関係者、学生から社会人まで幅広い参加者を対象に「自然体験活動フォーラム」を開催します。昨年度は「自然体験活動とアクティブラーニング」をサブテーマとしましたが、今年度は「自然体験活動の社会的価値とは何か、どのように高めるか」という視点で自然体験活動の普及促進へ向けてのディスカッション、SDGs や発達障害等をテーマとする分科会と共に、各地域における課題解決の場でもあります。また、第一部では第二部のフォーラムに先立ち、様々な指導者研修講座が開設されますので、併せてご参加ください。

平成30年度全国自然体験活動指導者集会  
 全国キャラバン開催会場情報



ラップアップフォーラム 平成31年 3/15金～16土 国立オリンピック記念青少年総合センター

全国キャラバンの参加者やスタッフ、会場施設職員を対象に開催する1年間を集大成するフォーラムです。是非、ご参加ください。

●と き：平成31年 **1/18金・19土・20日**  
**第一部** 18金 10:00～17:30 / **第二部** 19土 10:00～20日 12:30

●と ころ：**国立岩手山青少年交流の家**  
 〒020-0601 岩手県滝沢市後292

●対 象：自然体験活動に興味ある人は、どなたでも。NEAL指導者大歓迎！

●参加費：**第一部** 各講座、別途参加費が必要です。  
**第二部** 1/19・20に参加 **4,000円** (学生 **3,500円**)  
 ※1日のみ参加 **3,000円** ※すべて税込み

※別途、食事代 (昼食 530円、夕食 690円、朝食 420円)、情報交換会費 2,000円が必要です。



**主催：NPO 法人 自然体験活動推進協議会 (CONE)**  
 Council for Outdoor & Nature Experiences

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内  
**TEL 03-6407-8240 FAX 03-6407-8241 E-mail info@cone.jp** 問い合わせ時間：月～金曜日 10:00～17:00

後援：文部科学省、国土交通省、農林水産省、環境省、公益財団法人日本環境教育フォーラム、ESD活動支援センター、NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、岩手県、岩手県教育委員会 (申請中)、東北環境パートナーシップオフィス、東北地方ESD活動支援センター

お申し込みは  
 コチラから



第一部

自然体験活動指導者研修

1/18 金 10:00~17:30

自然体験活動に様々な立場で関わる指導者に対して実施する専門研修です。また、CONE トレーナーや NEAL 主任講師、NEAL コーディネーター、NEAL インストラクター等の登録更新が可能です。

自然体験活動上級指導者研修 1/18 金 10:00~12:00

\*主にCONEトレーナー、NEAL主任講師を対象 講師 森 美文 (森環境教育事務所)

安全管理者研修 1/18 金 13:00~16:00

- ・自然体験活動における安全管理-1 講師 北川 健司 (川に学ぶ体験活動協議会理事)
  - \*主に NEAL コーディネーターを対象
- ・自然体験活動における安全管理-2 講師 小林 孝之助 (セディア財団事務局次長)
  - \*主に NEAL インストラクターを対象



保険と事件事例研究 1/18 金 16:00~17:30

\*主に CONE 包括保険加入者を対象 講師 町頭 隆児 (オフィステラ)

第二部

全体会① 自然体験活動のソーシャルバリュー

1/19 土 10:20~12:30



パネルディスカッション

自然体験活動のプログラムやフィールドと関わりの深い三方を講師としてお招きし、それぞれの専門分野と自然体験活動との関連や、どんなところに自然体験活動の社会的価値があると考えていらっしゃるか、お話しいただきます。その後は会場の皆さんを交えながら、さらに自然体験活動の社会的価値(ソーシャルバリュー)について深めていきます。



コーディネーター  
小林 孝之助氏  
(セディア財団事務局次長)

建築設計事務所やゼネコンを経て、青少年教育団体事務局へ転職し、事務事業だけでなく国際交流や各種教育事業の開発に従事する。早期退職後は、自然体験活動の魅力を伝えるための体験活動や安全を確保するための研修事業を推進している。

パネリスト



前田 泰弘氏  
(長野県立大学健康発達学部 小児学専攻教授)

東北大学大学院教育学研究科心身障害学特殊専攻を修了し、東北福祉大学小児学専攻准教授、ラハティ応用科学大学フィンランド) 客員研究員等を経て現職。臨床発達心理士として保育所等での発達相談を行いながら、気になる幼児の身体感覚の向上と育ちの支援を研究している。



森川 久氏  
(環境省 十和田八幡平国立公園 管理事務所長)

秋田県出身。1987年に環境庁(現環境省)に入庁。栃木県日光市の日光国立公園管理事務所での勤務を皮切りに、長崎県五島市の西海国立公園や兵庫県豊岡市の山陰海岸国立公園など、全国各地の国立公園の管理業務を担当。2017年(平成29年)5月から現在の十和田八幡平国立公園管理事務所、国立公園の管理業務のほか、国立公園満喫プロジェクトの推進を担当。



山田 周生氏  
(ユナイテッドグリーン代表、 写真家・フォトジャーナリスト)

25歳の時にサハラ砂漠をバイクで単独縦断。その後世界各地を巡り、世界の多様性や人と自然の共存、先住民や文化などをテーマに撮影取材を続ける。訪れた国は150カ国以上、地球50周ほどの距離を越える。05年に廃油から作るバイオディーゼル燃料(BDF)のテストプロジェクトを開始。化石燃料を一切使わずに旅をする「バイオディーゼルアドベンチャー」に出発。各地のエネルギー事情などを取材しながら地球一周に成功。2011年、日本一周の最中に岩手県で大地震に遭遇。化石燃料が枯渇する中、BDF車の機動力を最大限活かして被災地支援を開始。現在は「一般社団法人ユナイテッドグリーン」を立ち上げ、「未来循環型地域づくり」活動を続ける。

全体会② KP法で考えるSDGs ~あなたとSDGsの関係を整理しよう~

1/19 土 16:00~17:30

最近耳にするようになったSDGs(持続可能な開発目標)についてみんなで知って考えよう。川嶋氏のレクチャー「SDGsってどんなこと？」からスタートして、参加者自身の自然体験活動との関連性について理解を深めたいと思います。

\*KP法とは(紙芝居プレゼンテーション)のことで、アナログな思考整理&プレゼン手法です。

全体会③ 明日へとつなげるクロージングセッション (私にとってのお土産を持ち帰る)

1/20 日 11:00~12:00

2日間のフォーラムを振り返り、自然体験活動の社会的な価値や各人にとっての価値について考える。フォーラムで得た新たな学び、気づき、出会いを明日からの活動へつなげていくためのセッションです。

コーディネーター



川嶋 直氏  
(日本環境教育フォーラム 理事長)

1953年東京生まれ。1980年代に財団法人キープ協会から自然体験型環境教育事業を組織内起業。以降30年間に渡り参加型・自然体験型環境教育プログラムの開発と人材育成を行う。2010年以降はKP法(紙芝居プレゼンテーション法)など様々な参加型コミュニケーション手法の開発と普及を行ってきた。

分科会-I 1/19 土 13:30~15:30

分科会① 森のようちえんカフェ① 森で育つ子どもたち

森のようちえんの活動は、自然との交流や多世代との交流を通して、地域を変え地方を変え、そして日本を変え、計り知れない可能性を秘めています。将来の地球を担うすべての子どもたちに、いのちを尊ぶ心や世界平和の礎を築く、そんな教育実践活動とは?を一緒に探りませんか。

講師 野村 直子氏 横田 聖美氏 佐藤 有里氏  
(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟理事)



森のようちえんとは乳幼少期の子どもたちを自然の中で育む子育て・幼児教育の総称。子どもたちが主体的に活動を行い、一人ひとりの個性が尊重される森のようちえんに賛同する全国の仲間たちを繋いでいる。

分科会② 発達に気になる子の育ちを促す自然体験活動

日常生活において何となく生活はできるけれども、姿勢保持や動きそして感情を抑えることに苦手さ(不器用さ)を示す子がいます。本分科会ではこのような気になる子の背景の理解と、豊かな生活を支援する上で自然体験活動が貢献できる可能性について考えます。



講師 前田 泰弘氏 (長野県立大学健康発達学部 小児学専攻教授)

東北大学大学院教育学研究科心身障害学特殊専攻を修了し、東北福祉大学小児学専攻准教授、ラハティ応用科学大学(フィンランド)客員研究員等を経て現職。臨床発達心理士として保育所等での発達相談を行いながら、気になる幼児の身体感覚の向上と育ちの支援を研究している。

分科会③ 自然体験活動で地域をリ・デザイン

東北の暮らしや文化自然資源を再発見し、新たな価値を見出し自然体験活動を通じて地域を元気に面白くしていくことを考えます。二人の講師の事例を交えながら、地域のリ・デザインについて考えます。



講師 大場 寿樹氏 (くりはらツーリズム ネットワーク事務局長)

宮城県栗原市出身。1994年に築館町役場に入庁し「くりはら田園観光都市創造事業」である地域資源の調査研究や観光まちづくり体制整備等の業務に従事。2013年3月に退任し、くりはらツーリズムネットワーク事務局に勤務。年間150回以上の観光・ツーリズム事業の企画・運営とPR・デザインを担当する。



講師 関 博充氏 (みちのくトレイルクラブ事務局長)

茨城県水戸市出身。2012年4月より三陸ジオパーク推進協議会ジオパーク推進員、日本ジオパーク認定や地域での推進活動、ガイド養成に携わる。2018年4月より現職。2019年春に全線が開通し、青森県八戸市から福島県相馬市までの全長900kmを越える歩くための道「みちのく潮風トレイル」の管理運営と利活用、及び宮城県名取市開通と同時に開所する「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター」の管理運営を行う。

分科会④ 事件事例から学ぶリスクマネジメント

参加者のヒヤリハット経験や講師からの事件事例紹介を通じて、現場で使えるリスクマネジメントの視点や考え方手法について学びます。



講師 北川 健司氏 (川に学ぶ体験活動協議会理事)

アウトドアサポートシステム・NPO法人エヌエスネット代表。マッキンリー単独登山、ヒマラヤ始め世界の登山経験のある山岳ガイドとして、夏も冬も長良川の源流で主に活動。ニュージーランドのガイドも担当。CONE・JON・エコセン安全委員。自然学校指導者養成事業、大学・専門学校、行政機関など野外活動のリスクマネジメント研修講師を担当。趣味は、妻と一緒に古道や街並み、神社仏閣巡り。

情報交換会 1/19 土 19:30~

~はなそう、きこう、つながろう~

分科会-II 1/20 日 9:00~11:00

分科会⑤ 森のようちえんカフェ② 森のようちえん実践事例

“自然の中で主体的に遊びを展開し、健全な発育・発達を促す”という森のようちえん。その特質を活かした、自然体験をベースにした活動、地方裁量型認定子ども園としての森のようちえんの活動など、さまざまな実践事例を紹介しながら、参加者のみなさんと意見交換します。

講師 野村 直子氏 横田 聖美氏 佐藤 有里氏  
(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟理事)



森のようちえん全国ネットワーク連盟は、森のようちえんを行なっているもしくは興味のある団体や個人への情報共有、勉強会や講座、各種イベントなどを行い、森のようちえんを広めると共に質の向上を目指している。

分科会⑥ 五感は古い、自然体験で七感を育む (子どもの感覚ニーズから自然体験をデザインする(感覚統合×自然体験))

その自然体験は、子どもの発達につながっていますか?感覚統合を理解すれば、その子にとって本当に必要な活動が見えてきます。ホースセラピーなど様々な自然体験の事例を通して、子どもの発達との関係を紐解き、皆さんも実践できる活動を考えましょう。未就学児、発達障がい児やグレーゾーンの子に関わる方には、特にオススメです。



講師 黍原 豊氏 (三陸駒舎共同創設者・理事)

森と風のがっこう、県立児童館いわて子どもの森を経て、2013年から釜援隊として釜石の復興まちづくりに携わる。その中で、地域に根付いた子ども支援の必要性を感じ、2015年には築90年の古民家を拠点に三陸駒舎を設立。2017年末から、障がい児対象のホースセラピー事業も開始する。

分科会⑦ 子どもを対象としたインタープリテーション

観察会や授業、出前授業などで、子どもが全然話を聞いてくれない。面白くない、参加者が集まらないなど困ったことはありませんか?それは子どもが、大人以上に興味や関心に関するセンサーが敏感で、いろいろなものに興味関心を示してしまうからです。一方で伝える技術を身につけることで、大切な「気づき」を持ち帰ることや落とし込み事ができます。講座を通して「子どもを対象とした伝える技術」について考えます。



講師 谷口 哲郎氏 (つがる野自然学校)

1980年生まれ、福岡県出身。青森県の北里大学大学院を修了後、東京の環境系コンサルタントで環境調査等に従事。その後、環境省の自然保護官補佐として白神山に関わり、現在もNPOの代表として活動。会社員時代に、環境保全に関わる仕事をし、自然と人の生活の共存に関わる業務に携わる。近年は、自然体験活動や環境教育活動、持続可能な地域づくりなどの分野にて、経験を活かし、持続可能な事業展開に取り組む。

分科会⑧ あなたの知らないキノコの世界

きのこの基本的な見分け方から、美味しい食べ方まで…。日頃実践している菌活の一環も紹介します。この講座に参加すれば、あなたの周りのキノコの世界が、ぐっと一変するかも!



講師 高橋 久祐氏 (盛岡広域森林組合 技師)

昭和53年(1978)生まれ 岩手県紫波郡出身、秋田県立農業短大卒平成12年林業従事者育成事業で、盛岡市森林組合へ入社、森林ボランティア組織を運営、森林組合青年部活動を通して、林野庁長官賞を受賞、平成18年盛岡市外山森林公園管理人になる。山菜アドバイザー、きのこアドバイザー、きのこ検定1級、日本菌学会東北支部会員、自然体験インストラクター等、様々な資格を持つ、イワテきのこ大祭実行委員長。

分科会⑨ 来年の東北フォーラム作戦会議

来年の東北フォーラムの方向性や企画を「わいわいがやがや」しながら「わくわく」する作戦会議です。来年の「あーしたいこーしたい」をみんなで考えたいと思います。



講師 塚原 俊也氏 (くりこま高原自然学校)

栗駒山域および北上川流域にて子どもから大人を対象に冒険キャンプや週末型森のようちえん、エコツアーなど自然体験活動の企画・運営・指導にあたる。自身も栗駒山中の耕英地区に家族で暮らし持続可能な暮らしの実践中。